



30日からの本番に向けて氣勢を上げるスピードスケートの青森県選手団Y.S.アリーナ八戸

スピード県勢、気合十分 結団式

○スピードスケートの青森県選手団は30日の競技開始を前に、Y.S.アリーナ八戸で結団式を行った。選手や監督、役員が出席し、「スケート国体」としては最後となる今大会での飛躍を誓った。

式では、県選手団の米内正明副団長が成年女子500mなどに出場する大岩未奈美（ライフーズ）に県旗を引き継ぎ、橋本精二顧問が激励の言葉を述べた。成年男子1000mなどにエントリーした山本大史（ハル市協会）は「厳しい戦いになるが、優勝だけを目標」と闘志。成年女子1500mなどに出場予定の木村咲映（ハ字大）は「普段通りに調整できている。地元の期待に応えたい」と意気込んだ。



特別国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会は28日、八戸市を主会場に開幕した。初日は市公営で開始が行われたほか、フラット八戸などで2競技がスタート。青森県勢はライオン少年女子ショートプログラム（SP）で壺前芳華（大一高）が17位でフリーに進み、準2日の28日はフラット八戸などで2競技が行われ、ショートトラックは終日を迎える。

（取材班）